

<令和4年度 第3回 (第174回)>
中小企業景況調査報告書

町村における中小企業の景況

令和4年10月 ~ 12月期実績

令和5年 1月 ~ 3月期予測

令和4年11月2日~11月15日調査



福島県商工会連合会

調 査 概 要

1. 調 査 対 象

この調査は、本県の町村部に設置されている商工会地区の中から中小企業の景況を調査したものである。

(1) 対象地区（14商工会）

松川町、桑折町（広域：国見町・川俣町）、保原町、富久山町、平田村、船引町
（広域：三春町・小野町・滝根町・大越町・都路町・常葉町）、岩瀬（広域：大東・長沼・鏡石町・天栄村）、埴町（広域：棚倉町・矢祭町・鮫川村）、南会津町、きたかた、猪苗代町、川内村、鹿島、内郷

(2) 対象企業数及び業種内訳210企業

製造業49企業、建設業35企業

小売業57企業、サービス業69企業

(3) 回答企業数206企業（回答率98.0%）

2. 調査対象期間

令和4年10月～12月期を対象とし、調査時点は令和4年11月15日とした。

3. 調査方法

(1) 対象商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2) 調査対象地区の決定は、商工会地区市町村人口規模別実態を勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向調査）の略で、企業経営者を対象に景況を示すいくつかの指数をアンケート調査して、その結果で景況の判断を表わす指標である。算出方法は、今期と前期、今期と前年同期比あるいは今期と来期（見通し）との比較を行い、増加（上昇・好転）企業の割合から減少（低下・悪化）企業の割合を差し引いたものとする。※日銀短観：DIとは、定義がやや異なります。

前回（令和4. 9. 1）のお天気マーク表

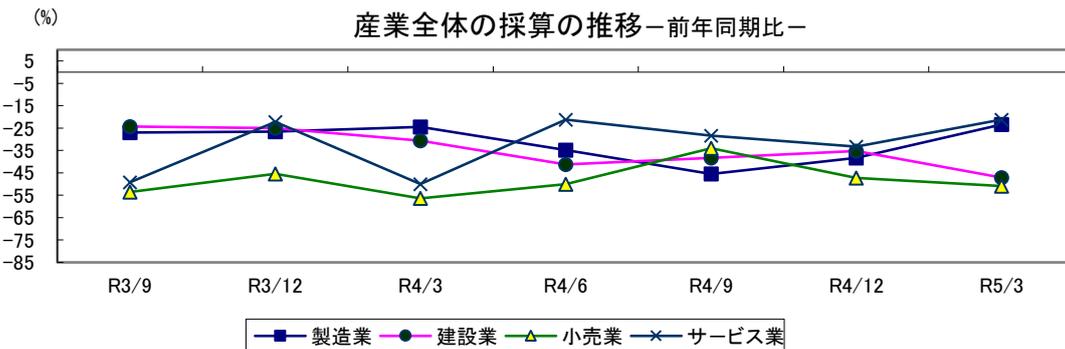
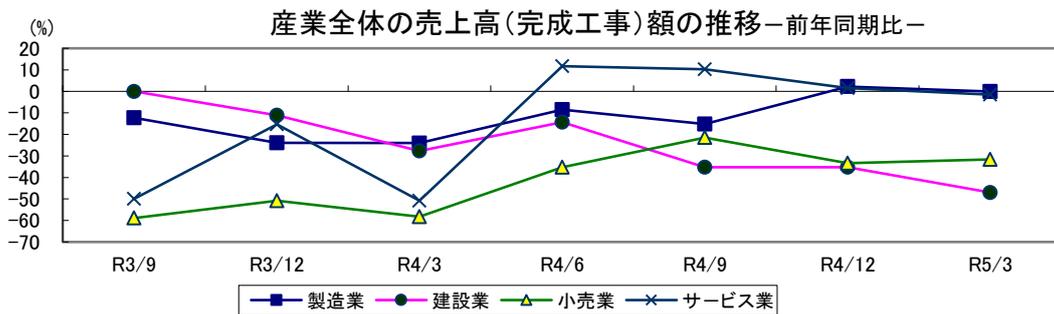
業種	主要指標	売上状況		採算状況	
		実績	見通し	実績	見通し
製造業		△ 15.2 	△ 13.4 	△ 45.5 	△ 30.2 
建設業		△ 35.3 	△ 41.2 	△ 38.3 	△ 23.5 
小売業		△ 21.5 	△ 35.7 	△ 34.0 	△ 35.7 
サービス業		10.3 	2.9 	△ 28.4 	△ 25.4 

1. 産業全体の景況概要

県内商工会地区における今期(令和4年 10 ~ 12月期)の中小企業景況調査の結果によると、前年同期比DI値は、前期(令和4年7~9月期)と比較して売上額(完成工事額)では、製造業(17.4ポイント改善)で好転、建設業(0ポイント改善)で現状維持、小売業(11.9ポイント悪化)で悪化、サービス業(8.8ポイント悪化)でやや悪化となっている。採算においては、製造業(7.2ポイント改善)でやや好転、建設業(3ポイント改善)でほぼ現状維持、小売業(13.3ポイント悪化)で悪化、サービス業(4.9ポイント悪化)でほぼ現状維持となっている。

また、今期DI値と比較した来期(令和5年 1 ~ 3月期)の見通しは売上額(完成工事額)では、製造業(2.2ポイント悪化)でほぼ現状維持、建設業(11.7ポイント悪化)で悪化、小売業(1.8ポイント改善)、サービス業(3ポイント悪化)でほぼ現状維持の見通しとなっている。採算においては、製造業(14.9ポイント改善)で好転、建設業(11.8ポイント悪化)で悪化、小売業(3.6ポイント悪化)でほぼ現状維持、サービス業(12.1ポイント改善)で好転の見通しとなっている。

お天気マークを見ると、今期の売上額(完成工事額)において、製造業、サービス業で来期まで雨、建設業、小売業で来期まで曇の見通しとなっている。採算性において、製造業、建設業、サービス業で来期まで雨、小売業で今期雨から来期大雨の見通しとなっている。



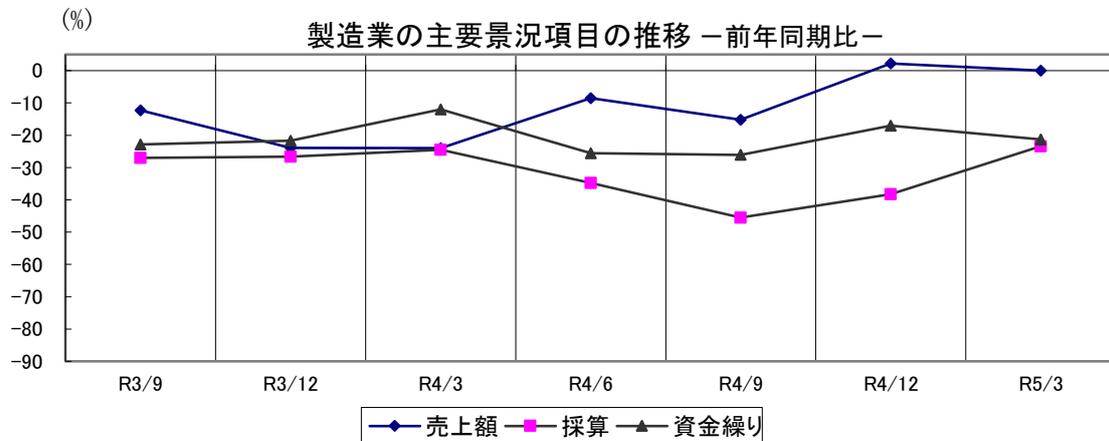
産業全体のお天気マーク-前年同期比-

業種	主要指標	売上状況		採算状況		お天気マークの説明
		実績	見通し	実績	見通し	
製造業		2.2 	0.0 	△ 38.3 	△ 23.4 	<お天気マークの説明> <マークは各指標のDI値を示す> +15%以上 晴 +5%~+14.9% 薄日 ±4.9% 曇 -5%~-14.9% 小雨 -15%~-49.9% 雨 -50%以下 大雨
建設業		△ 35.3 	△ 47.0 	△ 35.3 	△ 47.1 	
小売業		△ 33.4 	△ 31.6 	△ 47.3 	△ 50.9 	
サービス業		1.5 	△ 1.5 	△ 33.3 	△ 21.2 	

2. 製造業

今期(令和4年 10 ~ 12月期)の前年同期比DI値は、売上高で2.2ポイント(17.4ポイント改善の上向き)、採算でマイナス38.3ポイント(7.2ポイント改善のやや上向き)、資金繰りでマイナス17.0ポイント(9.1ポイント改善のやや上向き)と、売上高で好転、採算、資金繰りでやや好転となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和5年 1 ~ 3月期)見通しの前年同期比DI値は売上高で0.0ポイント(2.2ポイント悪化のほぼ横ばい)、採算でマイナス23.4ポイント(14.9ポイント改善の上向き)、資金繰りでマイナス21.3ポイント(4.3ポイント悪化のほぼ横ばい)の見通しと、売上高、資金繰りでほぼ現状維持、採算で好転の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



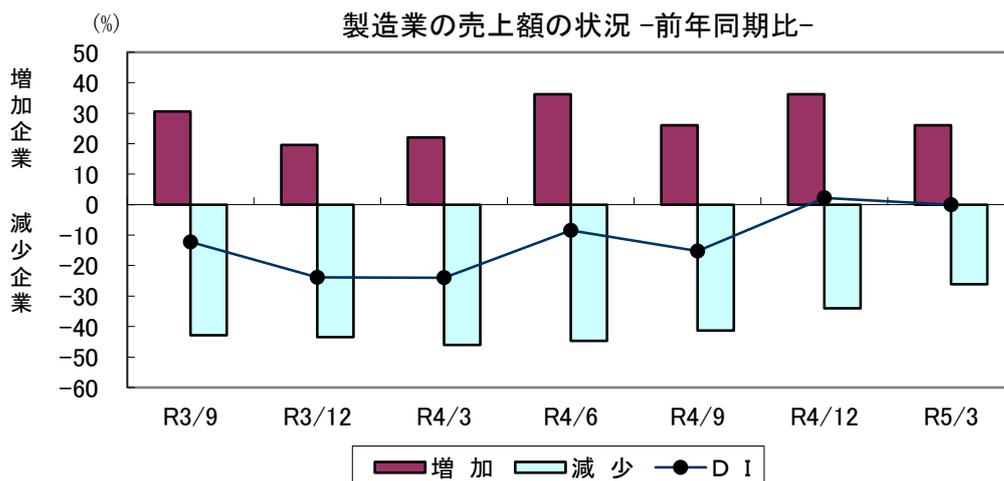
◎売上（加工）額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から10.1ポイント増加し、36.2%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から7.3ポイント減少し、34.0%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から17.4ポイント改善し、2.2ポイントと上向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して2.2ポイント悪化し、0.0ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「増加」と回答した企業が10.1ポイント減少、「減少」と回答した企業が7.9ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

◎ 製造業の売上（加工）額（前年同期比）

年 / 月	前期				今期		見通し
	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
増加	30.6	19.6	22.0	36.2	26.1	36.2	26.1
減少	42.9	43.5	46.0	44.7	41.3	34.0	26.1
D I	△ 12.3	△ 23.9	△ 24.0	△ 8.5	△ 15.2	2.2	0.0



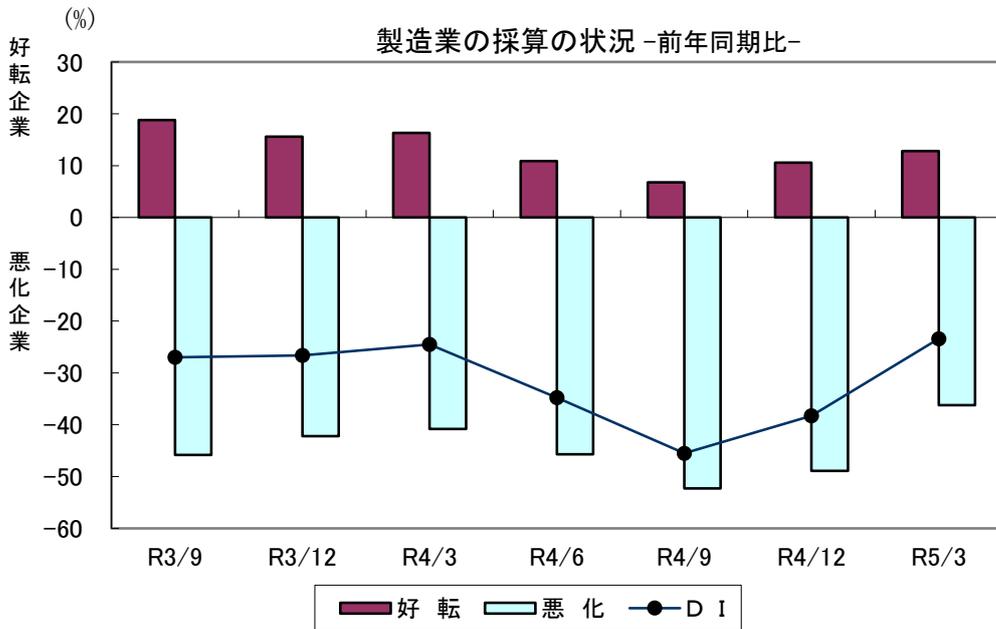
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から3.8ポイント増加し、10.6%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から3.4ポイント減少し、48.9%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から7.2ポイント改善し、マイナス38.3ポイントとやや上向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して14.9ポイント改善し、マイナス23.4ポイントと上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.2ポイント増加、「悪化」と回答した企業が12.7ポイント減少であることから、好転の見通しとなっている。

◎ 製造業の採算（前年同期比）

年 / 月					前 期	今 期	見通し
	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
好 転	18.8	15.6	16.3	10.9	6.8	10.6	12.8
悪 化	45.8	42.2	40.8	45.7	52.3	48.9	36.2
D I	△ 27.0	△ 26.6	△ 24.5	△ 34.8	△ 45.5	△ 38.3	△ 23.4



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から4.2ポイント増加し、6.4%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から4.9ポイント減少し、23.4%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から9.1ポイント改善し、マイナス17.0ポイントとやや上向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して4.3ポイント悪化し、マイナス21.3ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.1ポイント増加、「悪化」と回答した企業が6.4ポイント増加であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

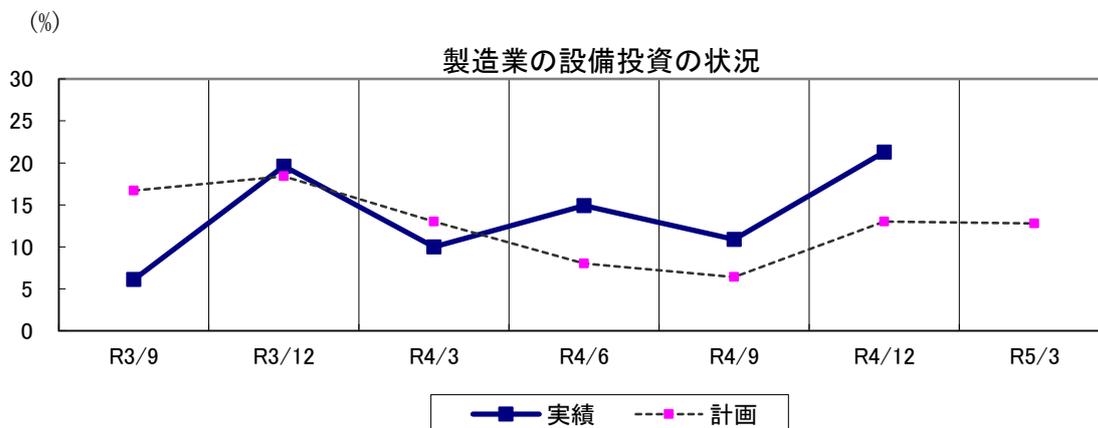
◎製造業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前 期	今 期	見通し
	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
好 転	4.2	8.7	10.0	2.1	2.2	6.4	8.5
悪 化	27.1	30.4	22.0	27.7	28.3	23.4	29.8
D I	△ 22.9	△ 21.7	△ 12.0	△ 25.6	△ 26.1	△ 17.0	△ 21.3

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から10.4ポイント増加し21.3%となっている。投資内容では「生産設備」が60.0%、「OA機器」が30.0%、「車両・運搬具」が20.0%、「工場建物」が10.0%、他は0%となっている。

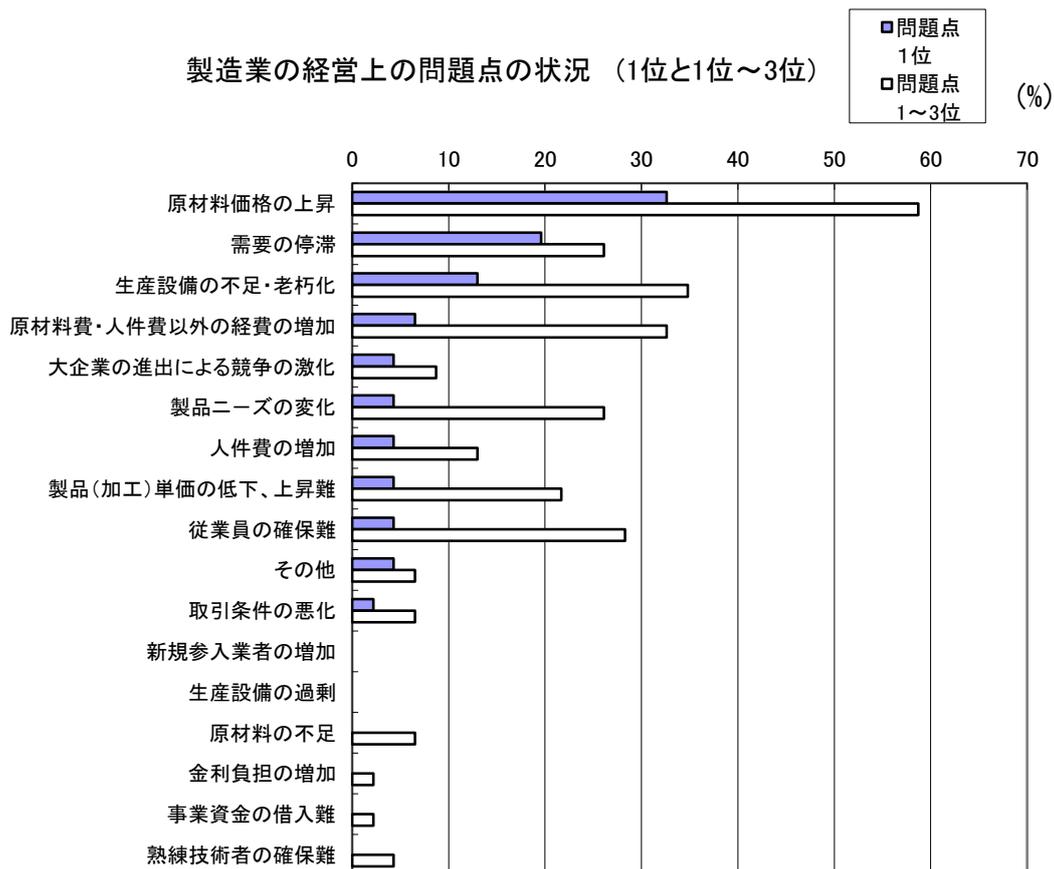
来期に設備投資を計画している企業は12.8%であり、今期計画から0.2ポイント減少、今期実績からは8.5ポイント減少している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「原材料価格の上昇」が32.6%、「需要の停滞」が19.6%、「生産設備の不足・老朽化」が13.0%、他は10%未満となっている。

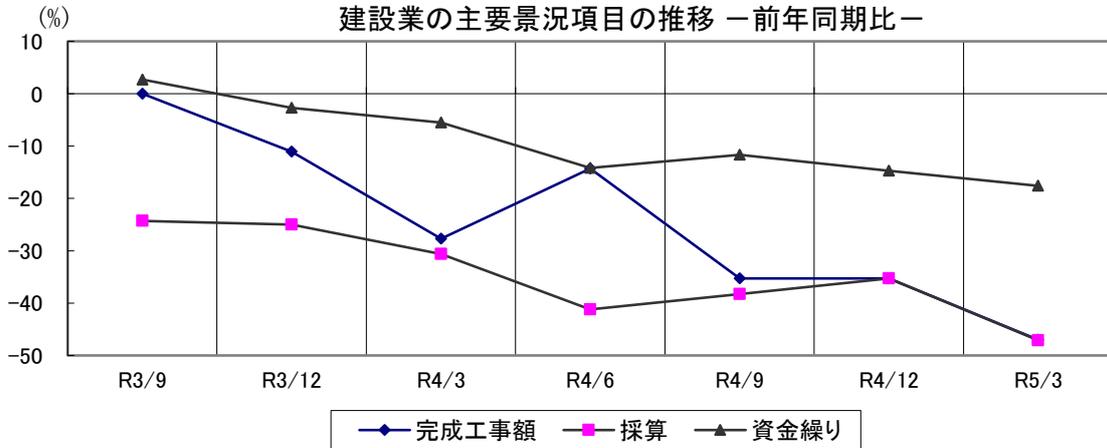
第1位～3位までの合計の問題点は、「原材料価格の上昇」(複数回答以下同じ)が58.7%、「生産設備の不足・老朽化」が34.8%、「原材料費・人件費以外の経費の増加」が32.6%、「従業員の確保難」が28.3%、「需要の停滞」、「製品ニーズの変化」が26.1%、「製品(加工)単価の低下、上昇難」が21.7%、「人件費の増加」が13.0%、他は10%未満となっている。



3. 建設業

今期(令和4年 10 ~ 12月期)の前年同期比DI値は、売上高で前期と同様のマイナス35.3ポイント、採算でマイナス35.3ポイント(3.0ポイント改善のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス14.7ポイント(3.0ポイント悪化のほぼ横ばい)と、売上高で現状維持、採算、資金繰りでほぼ現状維持となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和5年 1 ~ 3月期)見通しの前年同期比DI値は、売上高でマイナス47.0ポイント(11.7ポイント悪化の下向き)、採算でマイナス47.1ポイント(11.8ポイント悪化の下向き)、資金繰りでマイナス17.6ポイント(2.9ポイント悪化のほぼ横ばい)の見通しと、売上高、採算で悪化、資金繰りでほぼ現状維持の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



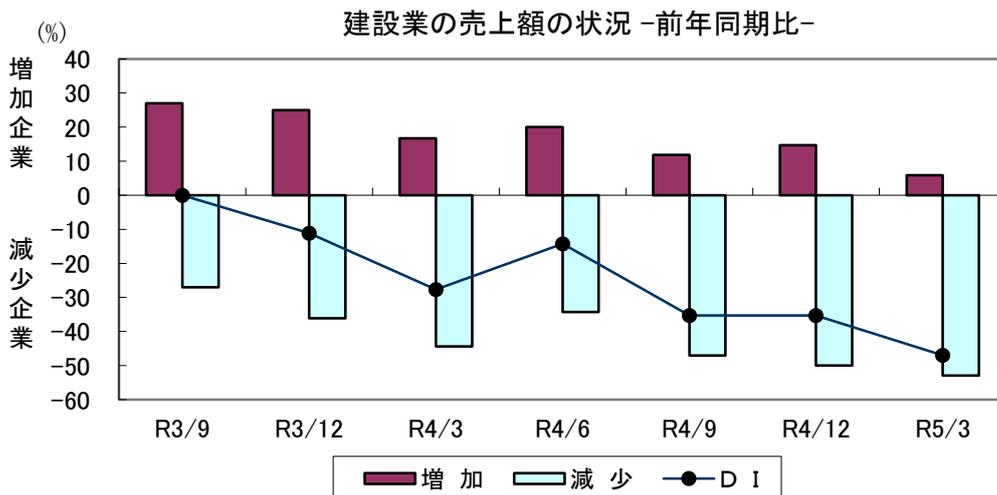
◎完成工事額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から2.9ポイント増加し、14.7%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から2.9ポイント増加し、50.0%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期と同様の-35.3%であり、マイナス35.3ポイントと横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して11.7ポイント悪化し、マイナス47.0ポイントと下向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が8.8ポイント減少、「減少」と回答した企業が2.9ポイント増加であることから、悪化の見通しとなっている。

◎建設業の完成工事額 (前年同期比)

年 / 月	前 期				今 期		見 通 し
	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
増 加	27.0	25.0	16.7	20.0	11.8	14.7	5.9
減 少	27.0	36.1	44.4	34.3	47.1	50.0	52.9
D I	0.0	△ 11.1	△ 27.7	△ 14.3	△ 35.3	△ 35.3	△ 47.0



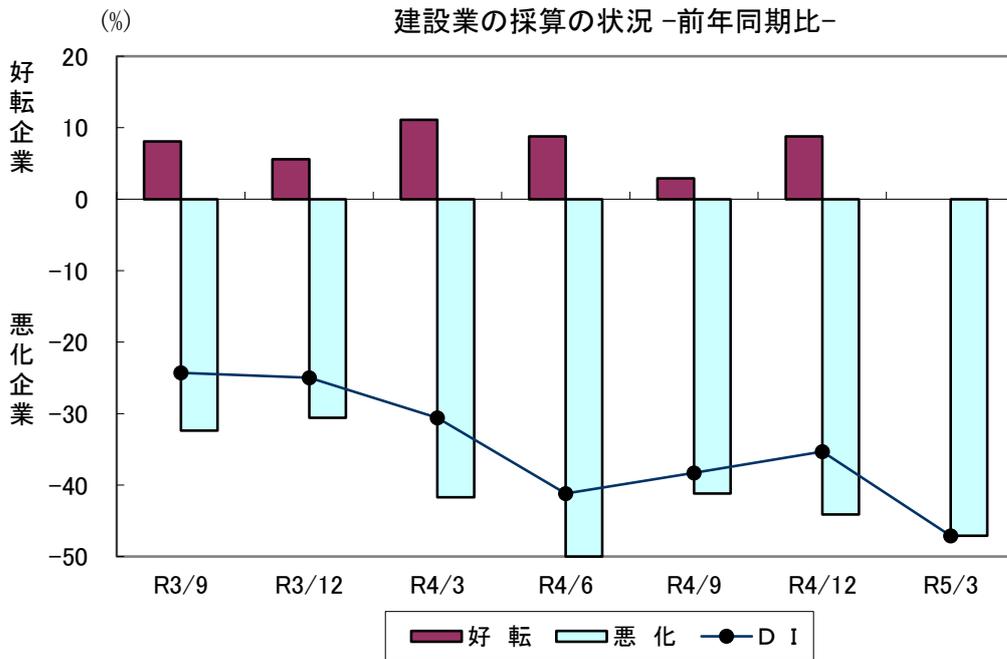
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から5.9ポイント増加し、8.8%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から2.9ポイント増加し、44.1%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から3.0ポイント改善し、マイナス35.3ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して11.8ポイント悪化し、マイナス47.1ポイントと下向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が8.8ポイント減少、「悪化」と回答した企業が3.0ポイント増加であることから、悪化の見通しとなっている。

◎建設業の採算（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
好転	8.1	5.6	11.1	8.8	2.9	8.8	0.0
悪化	32.4	30.6	41.7	50.0	41.2	44.1	47.1
D I	△ 24.3	△ 25.0	△ 30.6	△ 41.2	△ 38.3	△ 35.3	△ 47.1



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期と同様の5.9%であり、5.9%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から3.0ポイント増加し、20.6%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から3.0ポイント悪化し、マイナス14.7ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して2.9ポイント悪化し、マイナス17.6ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が5.9ポイント減少、「悪化」と回答した企業が3.0ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

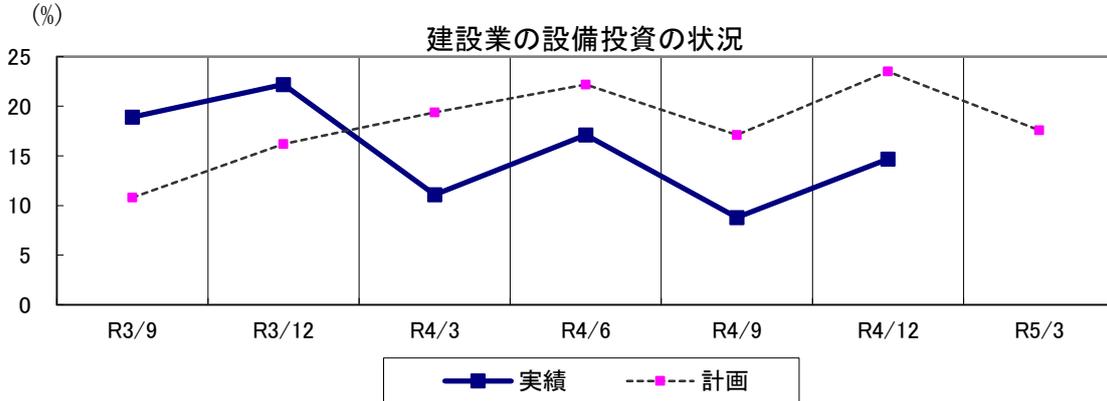
◎建設業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
好転	8.1	5.6	5.6	2.9	5.9	5.9	0.0
悪化	5.4	8.3	11.1	17.1	17.6	20.6	17.6
D I	2.7	△ 2.7	△ 5.5	△ 14.2	△ 11.7	△ 14.7	△ 17.6

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から5.9ポイント増加し14.7%となっている。投資内容では「建物」「車両・運搬具」が40.0%、「建設機械」「OA機器」「福利厚生施設」が20.0%で、他は0%となっている。

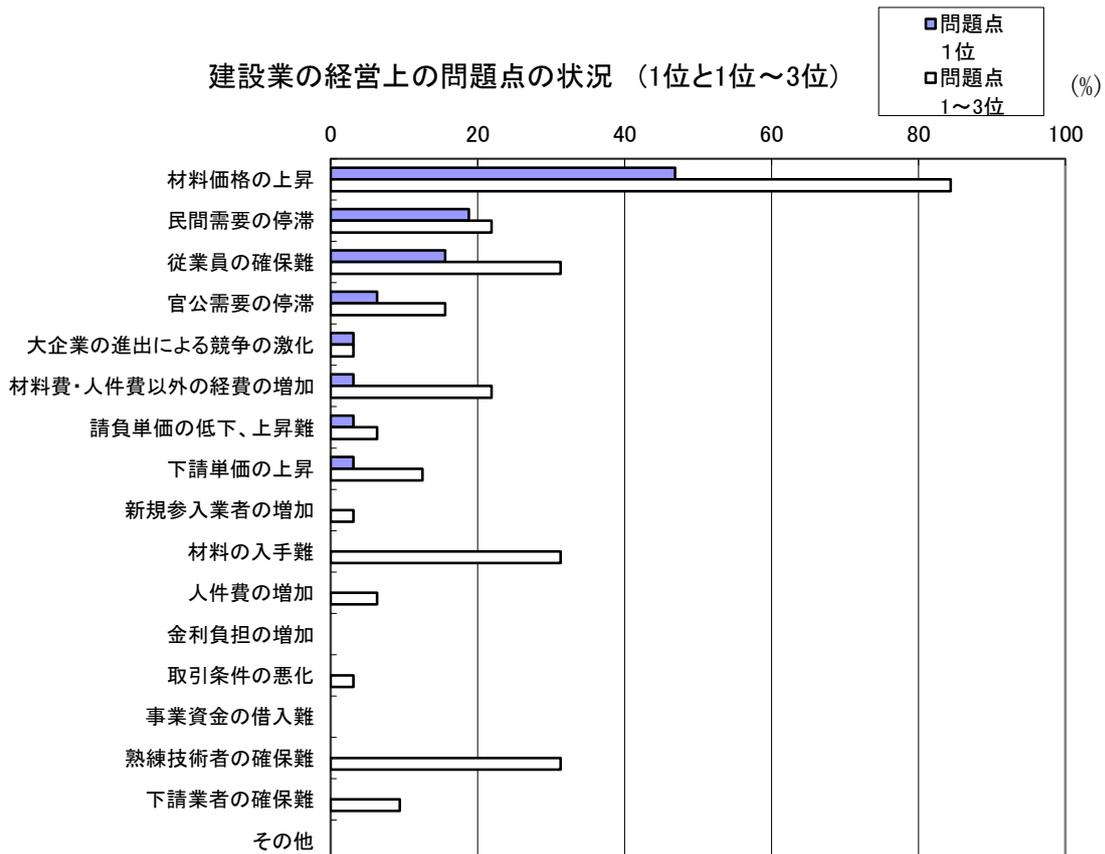
来期に設備投資を計画している企業は17.6%であり、今期計画から5.9ポイント減少、今期実績からは2.9ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「材料価格の上昇」が46.9%、「民間需要の停滞」が18.8%、「従業員の確保難」が15.6%、他は10%未満となっている。

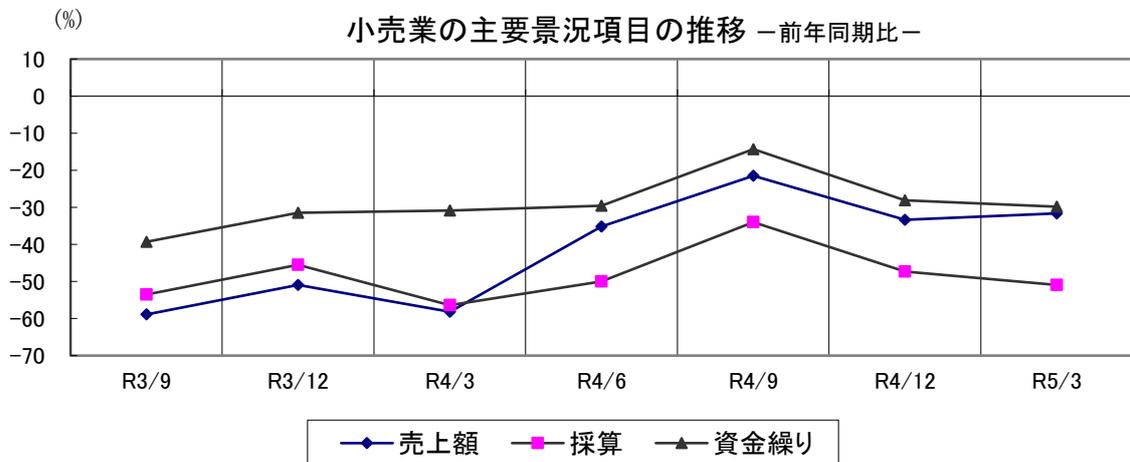
第1位～3位までの合計の問題点は、「材料価格の上昇」(複数回答以下同じ)が84.4%、「材料の入手難」、「従業員の確保難」、「熟練技術者の確保難」が31.3%、「材料費・人件費以外の経費の増加」、「民間需要の停滞」が21.9%、「官公需要の停滞」が15.6%、「下請単価の上昇」が12.5%、他は10%未満となっている。



4. 小 売 業

今期(令和4年 10 ~ 12月期)の前年同期比DI値は、売上高でマイナス33.4ポイント(11.9ポイント悪化の下向き)、採算でマイナス47.3ポイント(13.3ポイント悪化の下向き)、資金繰りでマイナス28.1ポイント(13.8ポイント悪化の下向き)と、売上高、採算、資金繰りで悪化となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和5年 1 ~ 3月期)見通しの前年同期比DI値は、売上高でマイナス31.6ポイント(1.8ポイント改善のほぼ横ばい)、採算でマイナス50.9ポイント(3.6ポイント悪化のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス29.8ポイント(1.7ポイント悪化のほぼ横ばい)の見通しと、売上高、採算、資金繰りでほぼ現状維持の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



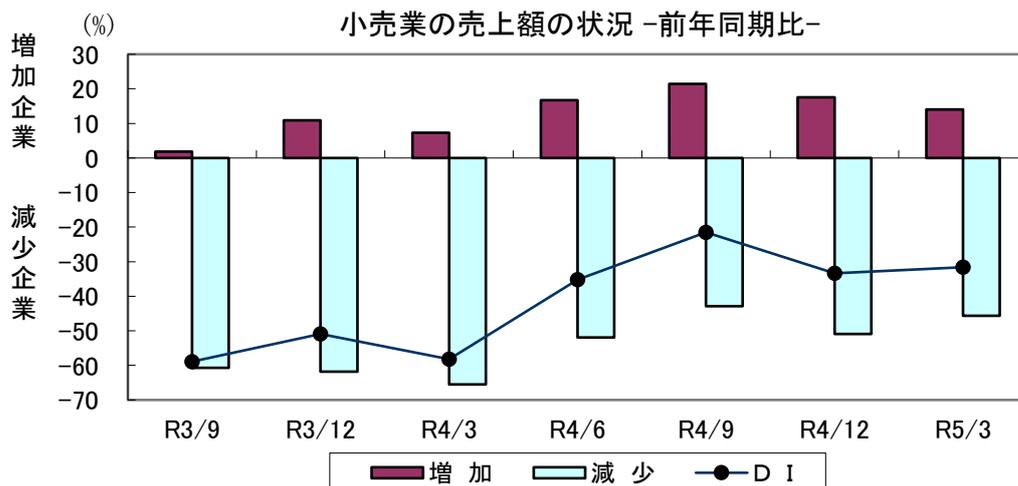
◎売上額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から3.9ポイント減少し、17.5%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から8.0ポイント増加し、50.9%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から11.9ポイント悪化し、マイナス33.4ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して1.8ポイント改善し、マイナス31.6ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「増加」と回答した企業が3.5ポイント減少、「減少」と回答した企業が5.3ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

◎小売業の売上額 (前年同期比)

年 / 月	前 期				今 期		見通し
	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
増 加	1.8	10.9	7.3	16.7	21.4	17.5	14.0
減 少	60.7	61.8	65.5	51.9	42.9	50.9	45.6
D I	△ 58.9	△ 50.9	△ 58.2	△ 35.2	△ 21.5	△ 33.4	△ 31.6



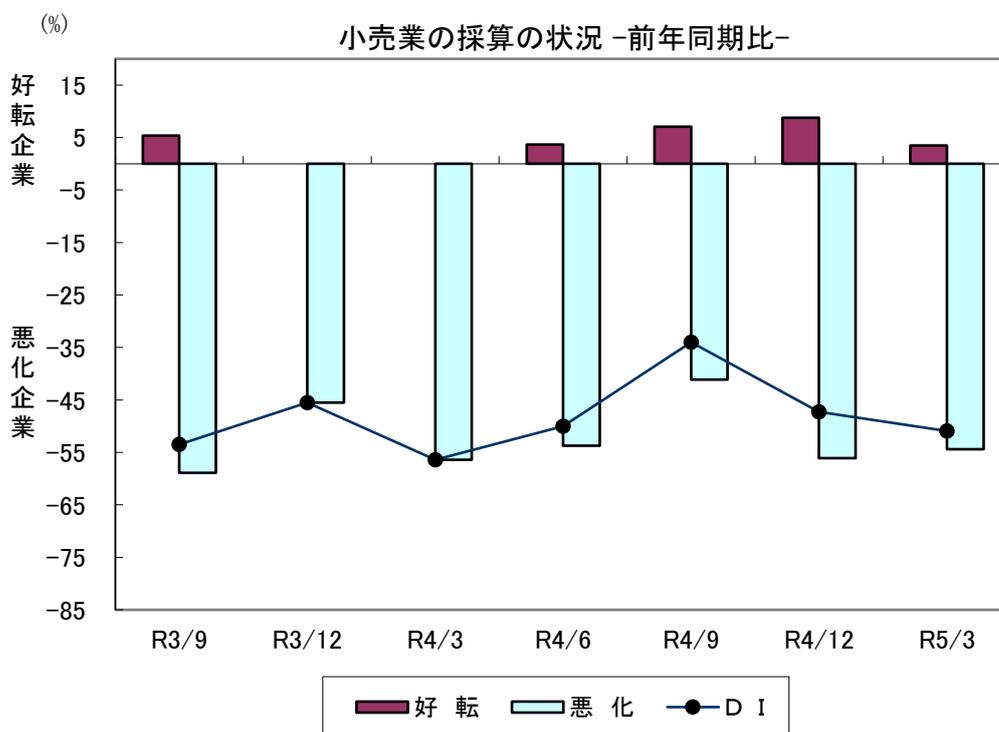
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から1.7ポイント増加し、8.8%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から15.0ポイント増加し、56.1%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から13.3ポイント悪化し、マイナス47.3ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して3.6ポイント悪化し、マイナス50.9ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が5.3ポイント減少、「悪化」と回答した企業が1.7ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

◎小売業の採算（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
好転	5.4	0.0	0.0	3.7	7.1	8.8	3.5
悪化	58.9	45.5	56.4	53.7	41.1	56.1	54.4
D I	△ 53.5	△ 45.5	△ 56.4	△ 50.0	△ 34.0	△ 47.3	△ 50.9



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から0.1ポイント減少し7.0%であった。一方「悪化」と回答した企業は前期から13.7ポイント増加し、35.1%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から13.8ポイント悪化し、マイナス28.1ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して1.7ポイント悪化し、マイナス29.8ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が5.2ポイント減少、「悪化」と回答した企業が3.5ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

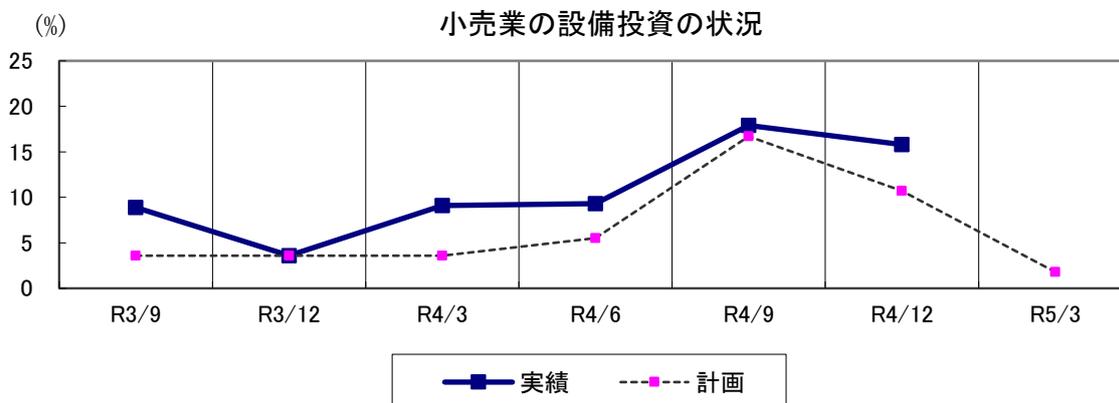
◎小売業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
好転	1.8	0.0	5.5	3.7	7.1	7.0	1.8
悪化	41.1	31.5	36.4	33.3	21.4	35.1	31.6
D I	△ 39.3	△ 31.5	△ 30.9	△ 29.6	△ 14.3	△ 28.1	△ 29.8

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から2.1ポイント減少し15.8%となっている。投資内容では「OA機器」が44.4%、「車両・運搬具」「付帯施設」が22.2%、「店舗」「販売設備」が11.1%で、他は0%となっている。

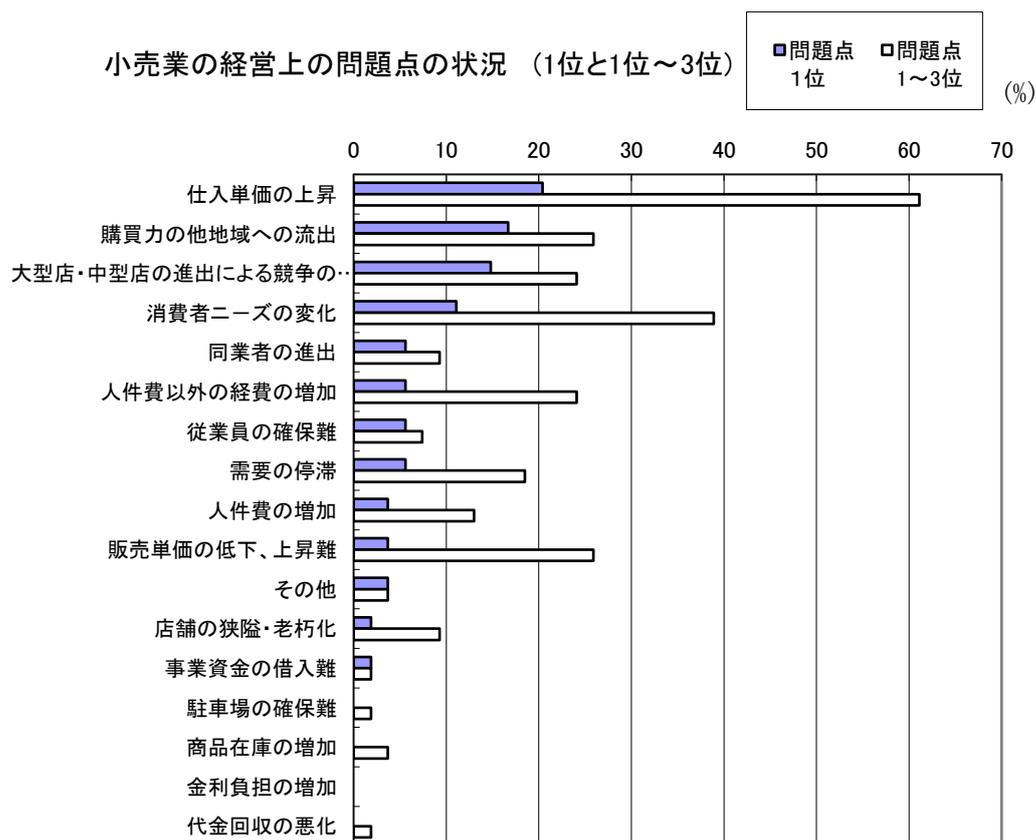
来期に設備投資を計画している企業は1.8%であり、今期計画から8.9ポイント減少、今期実績からは14.0ポイント減少している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「仕入単価の上昇」が20.4%、「購買力の他地域への流出」が16.7%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が14.8%、「消費者ニーズの変化」が11.1%、他は10%未満となっている。

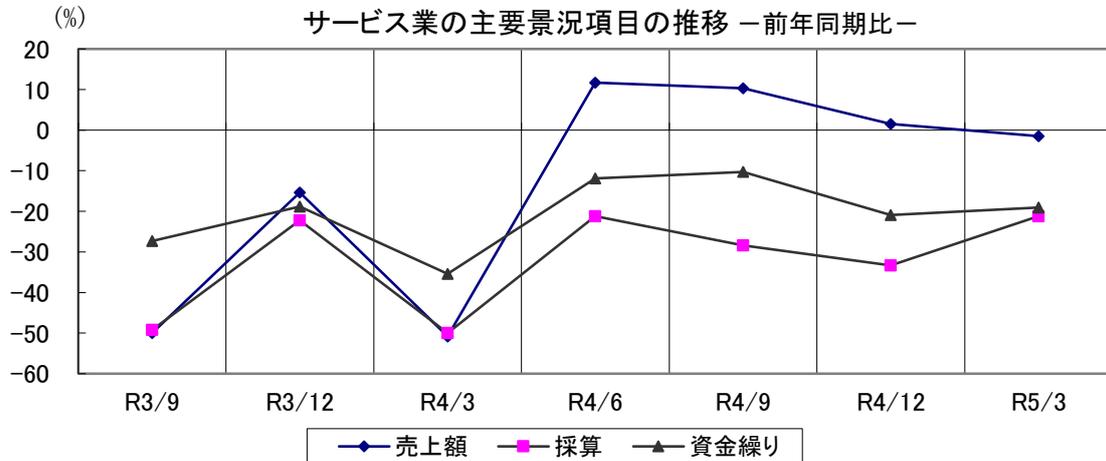
第1位～3位までの合計の問題点は、「仕入単価の上昇」(複数回答以下同じ)が61.1%、「消費者ニーズの変化」が38.9%、「購買力の他地域への流出」「販売単価の低下、上昇難」が25.9%、「人件費以外の経費の増加」「大型店・中型店の進出による競争の激化」が24.1%、「需要の停滞」が18.5%、「人件費の増加」が13.0%、他は10%未満となっている。



5. サービス業

今期(令和4年 10 ~ 12月期)の前年同期比DI値は、売上高で1.5ポイント(8.8ポイント悪化のやや下向き)、採算でマイナス33.3ポイント(4.9ポイント悪化のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス20.9ポイント(10.6ポイント悪化の下向き)と、売上高でやや悪化、採算でほぼ現状維持、資金繰りで悪化となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和5年 1 ~ 3月期)見通しの前年同期比DI値は、売上高でマイナス1.5ポイント(3.0ポイント悪化のほぼ横ばい)、採算でマイナス21.2ポイント(12.1ポイント改善の上向き)、資金繰りでマイナス19.1ポイント(1.8ポイント改善のほぼ横ばい)と、売上高、資金繰りでほぼ現状維持、採算で好転の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



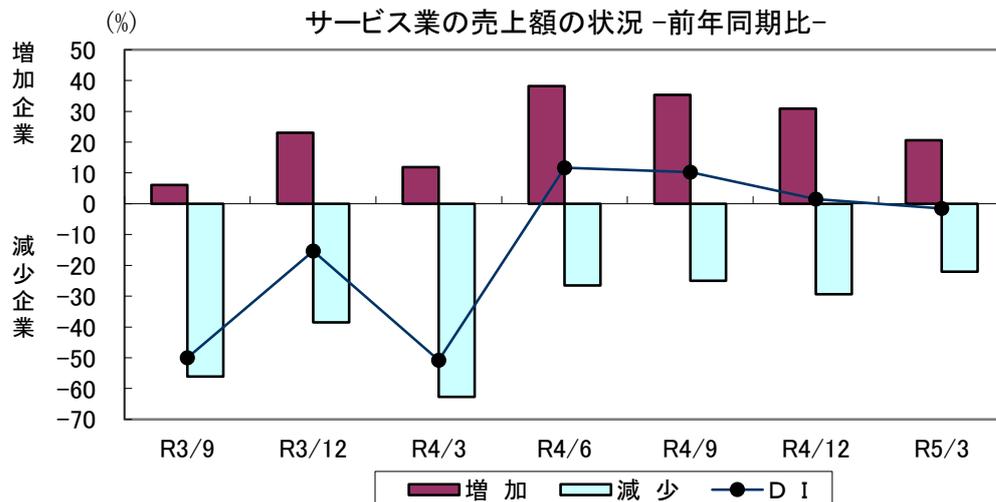
◎売上額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から4.4ポイント減少し、30.9%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から4.4ポイント増加し、29.4%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から8.8ポイント悪化し、1.5ポイントとやや下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して3.0ポイント悪化し、マイナス1.5ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「増加」と回答した企業が10.3ポイント減少、「減少」と回答した企業が7.3ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

◎サービス業の売上額（前年同期比）

年 / 月	前期				今期		見通し
	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
増加	6.1	23.1	11.9	38.2	35.3	30.9	20.6
減少	56.1	38.5	62.7	26.5	25.0	29.4	22.1
D I	△ 50.0	△ 15.4	△ 50.8	11.7	10.3	1.5	△ 1.5



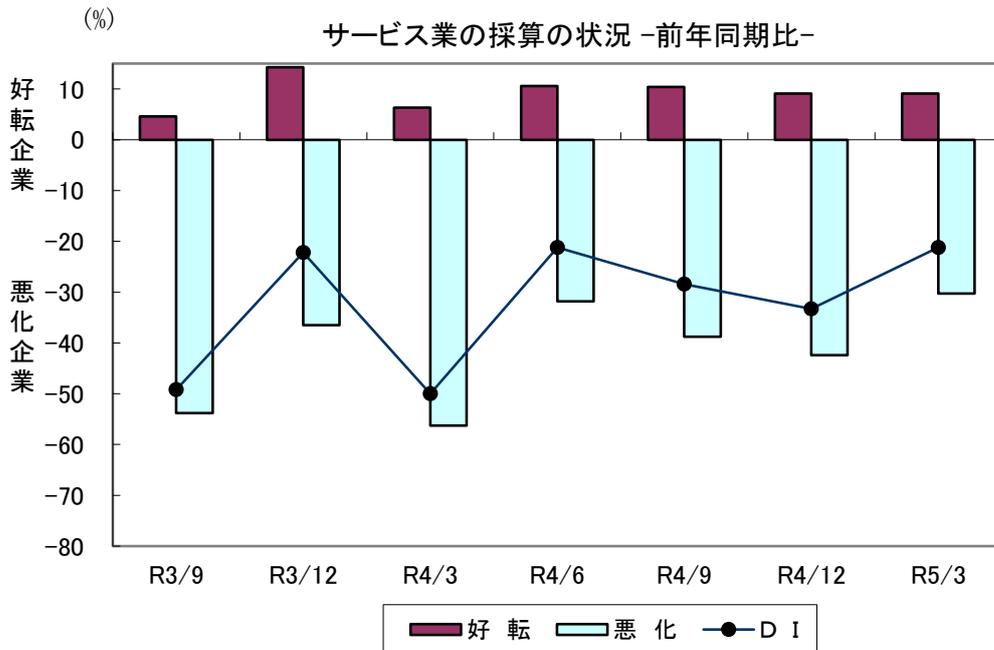
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から1.3ポイント減少し、9.1%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から3.6ポイント増加し、42.4%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から4.9ポイント悪化し、マイナス33.3ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して12.1ポイント改善し、マイナス21.2ポイントと上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が今期と同様の9.1%、「悪化」と回答した企業が12.1ポイント減少であることから、好転の見通しとなっている。

◎サービス業の採算（前年同期比）

					前期	今期	見通し
年 / 月	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
好転	4.6	14.3	6.3	10.6	10.4	9.1	9.1
悪化	53.8	36.5	56.3	31.8	38.8	42.4	30.3
D I	△ 49.2	△ 22.2	△ 50.0	△ 21.2	△ 28.4	△ 33.3	△ 21.2



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から5.8ポイント減少し、6.0%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から4.8ポイント増加し、26.9%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から10.6ポイント悪化し、マイナス20.9ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して1.8ポイント改善で、マイナス19.1ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が1.6ポイント減少、「悪化」と回答した企業が3.4ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

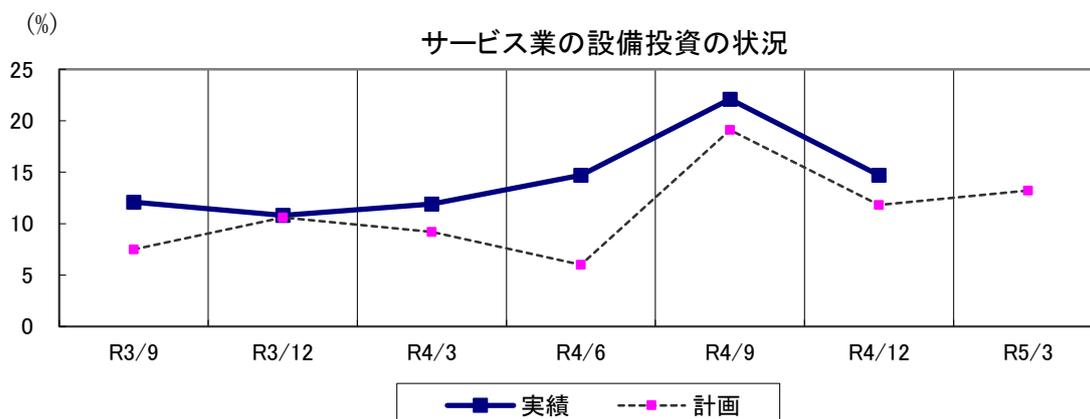
◎サービス業の資金繰り（前年同期比）

					前期	今期	見通し
年 / 月	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3
好転	3.0	7.8	1.5	9.0	11.8	6.0	4.4
悪化	30.3	26.6	36.9	20.9	22.1	26.9	23.5
D I	△ 27.3	△ 18.8	△ 35.4	△ 11.9	△ 10.3	△ 20.9	△ 19.1

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から7.4ポイント減少し14.7%となっている。投資内容では「車両・運搬具」「付帯施設」「その他」が30.0%、「建物」「サービス」「OA機器」が20.0%で、他は0%となっている。

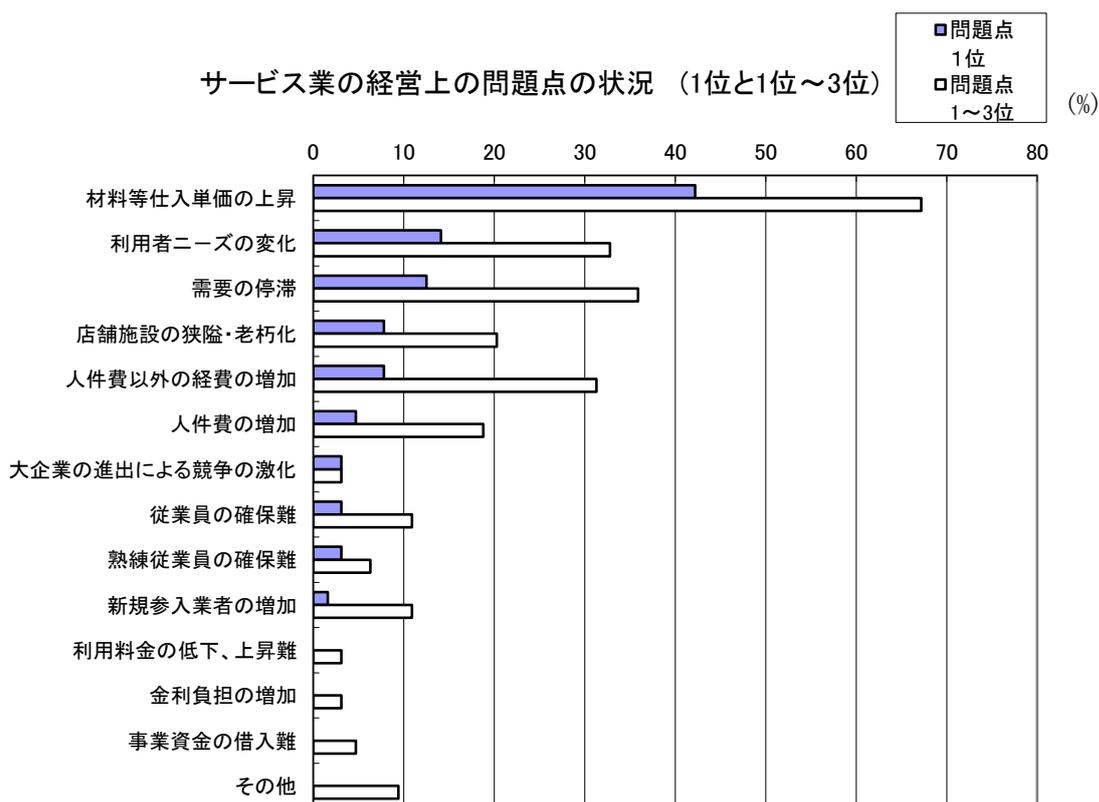
来期に設備投資を計画している企業は13.2%であり、今期計画から1.4ポイント増加、今期実績からは1.5ポイント減少している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「材料等仕入単価の上昇」が42.2%、「利用者ニーズの変化」が14.1%、「需要の停滞」が12.5%、他は10%未満となっている。

第1位～3位までの合計の問題点は、「材料等仕入単価の上昇」(複数回答以下同じ)が67.2%、「需要の停滞」が35.9%、「利用者ニーズの変化」が32.8%、「人件費以外の経費の増加」が31.3%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が20.3%、「人件費の増加」が18.8%、「従業員の確保難」が10.9%、「新規参入者の増加」が10.9%、他は10%未満となっている。



調査対象企業の

(1) 業種別(中分類)企業数

製 造 業				建 設 業				
業 種	企 業 数	構 成 比 (%)	業 種	企 業 数	構 成 比 (%)	業 種	企 業 数	構 成 比 (%)
食 料 品	10	21.3	総 合 工 事 業	25	73.5			
飲 料 ・ 飼 料 ・ た ば こ	3	6.4	職 別 工 事 業	3	8.8			
織 維 工 業	1	2.1	設 備 工 事 業	6	17.6			
衣 服 ・ そ の 他 織 維 製 品	4	8.5						
木 材 ・ 木 製 品	2	4.3						
家 具 ・ 装 備 品	2	4.3						
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品								
印 刷 ・ 同 関 連 産 業	2	4.3						
化 学 工 業								
プ ラ ス チ ッ ク 製 品	2	4.3						
窯 業 ・ 土 石 製 品	1	2.1						
鉄 鋼 業								
金 属 製 品	5	10.6						
一 般 機 械 器 具	6	12.8						
電 気 機 械 器 具								
情 報 通 信 機 械 器 具								
電 子 部 品								
輸 送 用 機 械 器 具	1	2.1						
精 密 機 械 器 具	1	2.1						
そ の 他	7	14.9						
合 計	47	100.0	合 計	34	100.0			

(2) 従業員数別企業数

従 業 員	製 造 業		建 設 業		小 売 業		サ ー ビ ス 業	
	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)
0 ~ 2 人	17	36.2	9	26.5	45	78.9	45	66.2
3 ~ 5	9	19.1	10	29.4	11	19.3	14	20.6
6 ~ 10	5	10.6	6	17.6	1	1.8	5	7.4
11 ~ 20	8	17.0	6	17.6			1	1.5
21 ~ 50	4	8.5	3	8.8			3	4.4
51 ~ 100	4	8.5						
101 ~ 300								
合 計	47	100.0	34	100.0	57	100.0	68	100.0

福島県商工会連合会および各広域指導センター住所

名 称	郵便番号	住 所	電 話	F A X
福島県商工会連合会	960-8053	福島市三河南町1番20号 (コラッセふくしま9F)	024-525-3411	024-525-3413
中通り広域指導センター	962-0028	須賀川市茶畑町46-105	0248-94-2680	0248-94-2677
会津広域指導センター	969-6195	大沼郡会津美里町字北川原 41 会津美里町役場本郷庁舎3F	0242-93-5607	0242-56-3815
浜通り広域指導センター	970-8026	いわき市平堂根町4の17 いわき中央ビル5F	0246-25-1011	0246-25-1013